



町内保育園児によるイモほり

(社協主催)



金武地区消防幼年消防クラブ

主な内容

平成16年度決算認定	2 P
一般質問	3～9 P
仲間 昌信 小波津 隆 前田 修 東 寛治 嘉数 義光 外間現一郎	
山城 清盛 宜野座 栄 伊芸 武吉 仲間 政治 神里 幸雄 知名 達也	
第9回定例会議案処理結果	10 P
特別委員会の設置、農業委員会委員の推薦、第8回・第10回臨時会議案処理結果	11 P
要請決議手交、委員会所管事務調査	12 P

第9回 定例会

平成16年度決算を認定!!

平成17年9月15日(木)に招集された第9回定例会は、議案14件、認定3件、推薦1件、決議2件を審議し、9月30日に閉会した。

一般質問は、ギンバル訓練場跡地利用関連やアスベスト問題等を中心に12人が質問をおこなった。また、認定第1号、第2号、第3号の16年度決算に関する件は、議長を除く全議員で構成する決算審査特別委員会に案件が付託され、一般会計、特別会計、水道事業会計の各会計に対し、各委員が質疑を行い、9月30日の本会議にて認定された。

◎認定第1号 (一般会計・特別会計)

一般会計	歳入	7,126,991,550 円
	歳出	6,956,928,685 円
特別会計	国保歳入	1,505,918,131 円
	国保歳出	1,413,937,705 円
	有線歳入	23,848,530 円
	有線歳出	22,338,173 円
	老健歳入	1,006,123,064 円
	老健歳出	979,240,845 円

◎認定第2号 (金武町水道事業会計)

収益的収入	273,184,137 円
〃 支出	296,813,000 円
資本的収入	45,515,434 円
〃 支出	10,688,262 円

◎認定第3号 (屋嘉地区簡易水道事業会計)

収益的収入	239,134,435 円
〃 支出	25,023,550 円
資本的収入	17,078,022 円
〃 支出	30,505,226 円

委員会報告書

1. 付託案件

- 認定第1号 平成16年度金武町一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第2号 平成16年度金武町水道事業会計決算認定について
- 認定第3号 平成16年度金武町屋嘉地区簡易水道事業会計決算認定について

2. 審査結果

- 認定第1号 認定すべきものとする
- 認定第2号 認定すべきものとする
- 認定第3号 認定すべきものとする

3. 少数意見

留保なし



一般質問

※質問・答弁は要約
本会議質問順に掲載



仲間 昌信 議員

ギンバル訓練場について

SACO条件の

受け入れ報道は事実か

町長
事実ではない

仲間議員 九月十日の新聞報道では、町長はSACO最終報告で示されたギンバル訓練場の返還に伴うヘリパットのブルービーチ移設条件の受入れを固めたとあるが事実か。
町長 報道内容については事実ではない。議会や地域住民を無視して容認する意向はない。
仲間議員 ヘリパットの移

設ポイントは。

町長 議会を始め、地域住民へ説明し、判断したいと考えている。

仲間議員 地域住民の不安を払拭するため、住宅地域からの旋回禁止、粉塵騒音被害等の問題を日米両政府、沖縄県、金武町で基地の使用協定を結ぶべきではないかと思うが。

町長 この件については、とても重要であり、議会や地域住民の意見を聴取する中で検討していきたい。
仲間議員 ギンバル訓練場の返還面積と地主数は。

町長 返還面積は六十・二クタールで、地主数は百三十二人である。
仲間議員 島田懇談会事業の事業実施には様々な手続

が必要だと推察されるが、そのタイムリミットはいつ

までか。
町長 返還は日米特別行動委員会での決定事項であり、金武町はどうするんですかということが問われている。ヘリパット問題が進展もないまま現在に至って



小波津 隆 議員

人材育成について

明確な目標がないが、

方策等の見直しは

教育長
各事業目的に応じて実施していく

小波津議員 教育の目標は人を育てることだと思いが、学校教育を終えた後でも人材育成はあらゆる社会で行われている。
金武町では、人材育成については明確な目標が設置されておらず、検証できる

システムの構築もされていない。実効あるものにするため方策等の見直しをすべきではないか。

教育長 人材育成は人間形成を狙いとしたものであり各事業目的に応じて実施していく。

小波津議員 小中学校を通して人的資源としてはどのように取り上げていくのか。
教育長 小中学生はまだ発達段階であるので、様々な体験をしながらいろんなものを吸収し、自分の進路を切り開くための基礎づくりの段階であると考える。また、学校教育における人材

いる状況で、ギンバル訓練場全体の事業完了期限ではなく、島懇事業のタイムリミットだけが押し迫っており、十九年度までであることから、事業実現に向けて努力していきたい。

育成はそういった体験で視野を広めるということが重要であり、様々な体験を通して自分の人生を切り開いて欲しいと思う。

三役について

助役二人体制にする

考えはないか

町長
今後検討したい

小波津議員 収入役を廃止し、助役二人体制にする考えはないか。

町長 基地問題も含め、島田懇談会事業等、金武町には山積する課題が多々ある。助役二人体制に関しては重

要なことなので今後、検討して行きたい。

その他の質問

- ・ギンバル訓練場の跡利用について
- ・教育行政について



前田 修 議員

市町村合併について

分収金割合はどうなるか

町長 現在の比率を堅持

前田議員 県の試案では、

本町、宜野座村、恩納村、旧石川市であったが、旧石川市から本町に何らかの話はなかったか。また、町から合併の相談をしたことはないか。

町長 町へ勉強会等の話は

あったが、町から相談したことはない。

前田議員 勉強会の内容は、

総務課長 担当者会という

ことで、当時の石川市の総務課長、本町総務課長、宜野座村総務課長、恩納村総務課長の四名で課題を出しながら話しをされている。

旧石川市は、法定期限内の合併を目指していたが、三町村はそれにとらわれず長期的な考えで話をしたいということであった。

前田議員 三町村の合併についてどう考えるか。

町長 町民、議会等の意向を尊重し、両村の動向も見ながら検討したい。

前田議員 本町では、分収

金に関して、旧慣条例により五対五の比率割合がある。ちなみに、宜野座村が六対四、恩納村が七対三である。合併協議会を立ち上げる段階には、本町の比率割合を堅持すべきだと考えるが。

町長 基本的には、現在の比率を堅持していく考えである。

道路新設について

屋嘉エメラルドタウン

サンヒルズ屋嘉に新設を

町長 整備の可能性を

今後調査する

前田議員 屋嘉のエメラル



東 寛治 議員

農業生産振興のための補助金について

町長 収穫機械利用

補助金の目的は

さとうきび生産の

維持・拡大

東議員 さとうきび収穫に

対する機械利用補助金の目的とトンあたりの補助額、ハーベスターの収穫実績、

ドタウンとサンヒルズ屋嘉には進入路がそれぞれ一本ずつしかなく、非常事態が生じた場合、混乱を招く恐れがあり、安全確保の観点から道路が必要と思うが。

町長 道路整備の可能性を

今後調査する。

前田議員 早めにできない

か。

建設課長 調査をしないと道路の線形等が決まられないので、調査をさせていただきたい。

前田議員 是非、調査を急

いで地域住民に伝えていた

町長 早急にできる体制を

考えていきたい。

適切・公平な処置だと思いが。

町長 現段階では考えていない。手刈り農家に対しては、ハーベスターの利用促進を図っていく。



ハーベスター

さとうきび採苗圃の設置について

設置箇所が一部に偏っているように感じるが

町長 各区の状況・意向を確認し検討する

東議員 苗圃の設置が一部に偏っているように感じられ、設置されていない地域は距離的・時間的に不公平感があるが、分散はできないのか。

町長 中川、金武、並里を一地域として中川区に、伊芸、屋嘉地域を一地域として伊芸区に設置している。今後は、各区の状況や意向を確認して検討したい。

東議員 採苗圃の委託面積は。

町長 新植予定面積は夏植えが中川区が百八十五アール、並里区が二百五十三アール、金武区が百三十六アール、伊芸区が七十アール、屋嘉区が三百三十一アール。春植えが中川区が七十四アール、

並里区が九十九アール、金武区が百十六アール、伊芸区が二百三十九アール、屋嘉区が二百九十七アールで採苗圃委託面積は、夏植えが伊芸区・中川区にそれぞれ六十五アール、春植えが



嘉数 義光 議員

ギンバル訓練場跡地利用について

先端医療施設を誘致することによるメリットは

町長 国内外から旅行者等の誘客が図られる

嘉数議員 訓練場の跡地に先端医療施設を計画しているように、誘致することによるメリットは。

町長 最近、新たな観光産業として先端医療施設を利用した健康診断が観光と

伊芸区・中川区にそれぞれ五十五アールとなっている。

その他質問事項

・屋嘉地区簡易水道管理施設敷地(個人所有地)の使用形態について

セットになったツアーが行われている。そのようなプログラムを行えば国内外から旅行者及び視察団等の誘客が図られることに併せて、町民の健康づくりに貢献でき、雇用の場の確保、商業への経済効果も図られる。

嘉数議員 大変貴重なゴホウラ貝が表採調査で発見され、隣接するギンバル訓練場からの発見も期待されるが埋蔵文化財の調査はいつ頃入る予定か。

社会教育課長 調査予定は、二月頃から予備調査を始めて、十八年度から二十一年度で調査をし、二十一年

度に報告書を作成する予定である。

嘉数議員 跡地利用について地権者への説明会が開催されたようだが、内容は。

基地跡地推進課長 跡地利用、導入施設等の説明を行った。

嘉数議員 反対している地権者はいたか。

基地跡地推進課長 説明会の中では反対の声はなかった。

嘉数議員 ギンバルは数々の問題が山積しているが、島田懇談会事業の予算はギンバル訓練場以外に使い道はないのか。また、その検討もしたか。

町長 内閣府等とも調整したが、事業メニューは当初の段階から事業内容にしか遣えないのが補助事業であり、他メニューへの切り替えは出来ない。

健康福祉センター、保育所、中央公民館及び各地区公民館等の連携を図りつつ、児童館の機能を果たしていきたい。



外間 現一郎 議員

児童福祉の充実について

児童館の設置計画は

町長 町内各施設で機能を果たしたい

外間議員 町民から児童館設置の要望があるが、計画はあるか。

町長 本町においては、保

健福祉センター、保育所、中央公民館及び各地区公民館等の連携を図りつつ、児童館の機能を果たしていきたい。

外間議員 具体的運営方法はあるか。

保健福祉課長 地区公民館を借用し、そこに集まった子供たちに指導、育成を町が人材を派遣し世話するという仕組みである。例えば、公民館に遊びにきた子

ば、公民館に遊びにきた子

供たちに体育館等を使ってスポーツをさせたり、あるいは図書室で本の読み聞かせ等をして、子供たちを見守っていく。

外間議員 先進地を例にあ

げてみると、児童館では遊具等を使った遊びや一輪車の競技大会、スポーツ大会等を行い、放課後の保護者が来るまでの時間を支援している。担当課としてはそれに近づける様な具体的な計画を進めていく必要があると思うが。

保健福祉課長 放課後、保

育所の門戸を開いております。また、親が用事等で子供を預けたいという場合の一時預かりも始めていく計画もしています。

公民館と児童館の持つ目的は重なっている部分が多く、一緒にやってもいい旨の記載がなされている。我々が知恵を出せば上手く活用できると思う。

外間議員 その場合、指導員等の設置義務があると思うが、有資格者か、現在の職員で対応するのか。

外間議員 あるかまでは法律では問うていない。現在の職員ではなく、新たに雇用し、指導員として設置する考えである。

指定のゴミ袋を購入してもらう等の考えはないか。

の方で希望者を対象とする考えである。



山城 清盛 議員

環境行政について

過去三年間の一日の

ゴミ処理量の推移は

町長 11トン〜12トン

山城議員 過去三年間の一日のゴミ処理量の推移は。

町長 平成十四年度から十六年度の三年間で、一日

当たり十一トンから十二トンの処理量である。

山城議員 ゴミ減量化、リ

サイクル化等の住民の意識改革をどの様に図るのか。

町長 今後、ストックヤードを建設し、分別収集を実施していく。併せて、ゴミ有料化も検討していく。

山城議員 過去にキャンブ・ハンセンから排出された有害物質も捨てられていたと思うが、チェック機能はないか。

町長 米軍のゴミ受入れについては、町内と同様に分別を徹底させ収集を行う予定である。

山城議員 基地内のゴミ処理量は把握しているか。

生活環境課長 一日あたり八・二トンで、ピーク時には十トンを超える場合もあると予測している。年間では約三千トン。

山城議員 米軍用として町

ゴミの処理料金をとるか検討している。

山城議員 過去において野焼きをしてゴミ処理していたこともあり、地域住民からダイオキシンの身体への影響を心配する声もあるが、住民検診を実施する考えはないか。

町長 中川区と調整を図りながら十八年度に実施する予定である。

山城議員 責任をもって対処し、住民の不安を払拭していただきたいと思うが、希望者が対象になるのか。

生活環境課長 作業従事者と野焼きをしていた頃に從事していた方で、検診を希望する方を対象とし、希望者がいなければ、周辺住民

がいないければ、周辺住民

用拡大の面からその方向で協議を進めていきたい。

生活環境課長 収集業務については、米軍が町に委託する方法と、一般の業者が収集する方法があり、町で請け負っている業務に関しては雇



宜野座 栄 議員

水質環境について

早急な調査が必要では

町長 環境基準に基づき実施する

宜野座議員 露天でのゴミ焼却、米軍演習等による環

境汚染はないか。

町長 平成十一年度から金武町ゴミ処理場から河川に流出している浸出水の水質及び底質調査を実施し、全て基準内の数値であった。
宜野座議員 掘り起こしをして調査をする考えはないか。

町長 既存のゴミについては前面に堰を設け、不透水層まで矢板を打ち込み、溜まった水は新規水処理施設で処理を行い、雨水が入り込まないようにキャッピングする計画である。掘り起こしをしてのゴミ処理は考えていない。
宜野座議員 五十年、百年先の子々孫々に危険な環境を残さないために早急に調査し、対策を講じる必要があると思うが。

町長 既存ゴミ処理場、新規最終処分場、新規ゴミ焼却施設が整備された場合、周辺の水質及びダイオキシン

ン等について、環境基準に基づき調査を実施し、監視に努めていきたい。

宜野座議員 掘り起こしはせず、後に建設される施設で処理していくとのことだが、座間味村、渡名喜村のように、無公害化出来るような施設のことか。



伊藝 武吉 議員

地域防災計画について

災害発生時に備えた計画や取り組みは

町長 地域防災計画に基づいて災害本部を設置している

伊芸議員 自然災害が突発的に多発しているが、緊急時に備え整備計画を急務に立ち上げる必要があると思

町長 金武町地域防災計画

生活環境課長

座間味村の施設については、当局も視察をしているが、本町で計画しているのは焼却炉ではなく、最終処分場である。

その他質問事項

・ヘリパット移設について

に基づき町長を本部長とする災害対策本部を設置して、対処することとなっている。暴風警報が発令されるなど災害の発生が予想される場合には、対策本部を設置している。

伊芸議員

国では、中央防災会議を開催しているが、中央から市町村へ何らかの説明等はなかったか。
総務課長 なかった。

伊芸議員 金武町の場合は伊芸、屋嘉、中川の一部、

並里福花、武田原は低地帯であるので横の連携を取っ

て、対策を講じる考えは。

総務課長 伊芸、屋嘉、中川の海岸沿いの低地帯についても実施計画等を作成し対策を講じていきたい。

アスベスト対策について

公共施設の調査は

町長 調査に向けて準備を進めている

伊芸議員 公共施設、住宅、ビル、その他にアスベストが使用されているかの調査及び実態は。

町長 町が所有している公共施設のアスベスト調査に向けた準備をすすめているところである。一般の住宅やビル等にアスベストが使用されているかは把握していないが、必要があれば相談窓口等を設置し、関係機関等調整を図り

ながら対処していく。

伊芸議員 他市町村では授業閉鎖までしている状況だが、町内の状況は。
教育長 町内は、昭和六十三年に中川小学校がアスベストを撤去している。その他、金武公会堂も撤去している。

その他質問事項

・ギンバル訓練場跡地利用について



役場3階機械室で発見されたアスベスト



仲間 政治 議員

アスベストの実態について

米軍基地施設建設・解体に伴うアスベストの処分は

町長 施設局に情報開示を求め

仲間議員 町が常時使用している施設や民間の住宅におけるアスベストの使用実態の有無を把握しているか。

町長 現在、町が使用している公共施設については、アスベスト調査に向けた準備をすすめている。

仲間議員 米軍基地の施設建設・解体に伴うアスベストをどこに処分したか施設局に情報の開示を求めるときではないか。

町長 那覇防衛施設局に情報の開示を要請する。

仲間議員 解体作業を請

け負ったのは、町内の下請け、孫請け業者と言われており、中にはアスベストの存在さえも知らせず、危険物質であることの認識も持たないまま今日に至っていると思うが、健康被害とアスベストの行方を調査する用意はあるか。

町長 基地内の解体作業を請け負った業者と町民の健康被害とアスベストの行方の調査については、関係機関等と調整を図りながら対応していく。

仲間議員 過去にも同じような問題があり、調査を行っている経緯があり、把握していないとなると職務怠慢になるが。各課説明を求め。

学校教育課長 給食センターの釜の周辺に疑わしいものがあり、サンプルをとって分析依頼をしている。学校関係では疑わしいのはなかった。

社会教育課長

教育文化センターの消化ポンプ室が石綿ではないが、断面に吹き付けがなされている。今後、その物質を分析し、アスベストの含有率も調査する必要がある。

生活環境課長

火葬場、葬祭場はそれに類するものは確認できなかった。古

い町営住宅については、建設時の材料承認願等の記録が残っているか調査していく。

保健福祉課長

統一して専門の方に調査をしていただき、結果を待ちたい。

水道課長

事務所のクラーの配水管に三十センチほどの疑わしいものがあ



神里 幸雄 議員

経済の自立化について

那覇防衛施設局長の発言をどの様に受け止めるか

町長 重く受け止めている

神里議員

都市型訓練施設に絡み、議会では伊芸地区の軍用地返還を求める決議を行った。それに対し、那覇防衛施設局の西局長は、

たので撤去している。浄水場では確認できなかった。総務課長 総務課で取りまとめをして全体の調査を行っていく。

その他質問事項

ギンバル訓練場の返還に伴うヘリパットの移設と跡利用問題について

「県内でも基地依存度が高い自治体であり、大変な覚悟と受け止めている。」と述べているが、このことは軍事行動を優先し、基地を抱える自治体の悩みを理解しようとする政府の姿勢だと受け止めるが、この発言をどの様に受け止めているか。

町長 重く受け止めている。神里議員 経済の自立化をどの様に認識しているか。また、自立型経済を構築し

たので撤去している。浄水場では確認できなかった。総務課長 総務課で取りまとめをして全体の調査を行っていく。

却と自立経済の移行にも繋がるものとして期待している。

神里議員 経済の自立については短時間で達成できるものではないと思うが、日本政府の言いなりにならないために、早急に自立に



知名 達也 議員

レンジ4都市型訓練施設について

訓練を中止させるための今後の取り組みは

町長 閉鎖・撤去を求める

知名議員 施設の閉鎖・撤去と伊芸区の基地返還についてどう取り組むか。

町長 日米合同委員会において、レンジ16に近接する既存のレンジに代替施設を教建設することで正式合

向けて取り組む必要があるのではないかと。

町長 日本政府の言いなりになるばかりでなく、こちらから物を申す体制が重要だと思っている。大切なことは一丸となつて行動できるかというのが政府を動か

意した旨の報告が那覇防衛施設局からあった。伊芸区の安全を確保するため、引き続き施設の閉鎖・撤去を求めていくと同時に、移設作業が一日も早く進められる様に関係機関へ要請していく。

知名議員 移設まで二年半の期間、暫定使用を行うと思うが、伊芸区の基地の返還を訴えるべきではないか。

町長 一時的にせよ、暫定使用については容認することとは出来ない。基地返還については、地元の方々や財産保全会とも相談していきたい。

知名議員 補

す要因であるので、今回のレンジ4を含め、県民集会をやるとか、一つの行動が出来れば政府に対しても意見は伝わると思う。

神里議員 恩納村の大学院大学に絡んで、金武町として事業展開があるのか。

金武小学校のエレベーター設置について

エレベーター設置の要請があるが

教育長 年度内完成をめざす

知名議員 金武小学校の障害児を持つ保護者の方から、エレベーターの設置要請が出されていると思うが。

教育長 補正

予算を計上して、年度内の工事完成を目指して取組んでいく。

知名議員 補

町長 ある程度プランニングが見えてきたので、調査を行い、本町と関連するならば、又、逆に関連させるようにするためにはどうするかということも調査していきたい。

神里議員 関連事業を展開

正予算計上分は、工事着工までか。

教育長 補正は、実施設計分である。工事期間は約三ヶ月程度で完了するので、年度内に完成する様な体制をとっていく。

知名議員 これからはバリアフリー化を行い、地域に学校を開放し、障害を持つ方との交流も学校で行わ



名護市立東江中学校に設置されているエレベーター

していく上で、用地が足りない場合、軍用地の返還も求めるか。

町長 返還に関しては、町だけの判断でなく、各財管等との話し合い、地域の方々と相談しながら判断していきたい。

れてくるであろうと考えられる。ゆとりがあるようなエレベーターの設置を要望するが。

学校教育課長 先進地域の東江小学校、中学校、国頭中学校は三名ないし十一名のエレベーターを設置されており視察している。参考にして、設置していきたい。

その他質問事項

- ・ギンバル訓練場返還案件とされるブルービッチ訓練場へのヘリパット移設について
- ・公共施設のアスベスト使用の有無について

平成17年 第9回 金武町議会定例会附議案件処理結果

議案番号	提案日	件名	提出者	議決日	議決結果
議案第48号	17.9.20	平成17年度金武町一般会計補正予算(第3号)	町長	17.9.21	原案可決
議案第49号	17.9.20	金武町財政調整基金の処分について	町長	17.9.21	原案可決
議案第50号	17.9.20	平成17年度金武町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	町長	17.9.21	原案可決
議案第51号	17.9.20	金武町国民健康保険事業財政調整基金の処分について	町長	17.9.21	原案可決
議案第52号	17.9.20	平成17年度金武町老人保健特別会計補正予算(第1号)	町長	17.9.21	原案可決
議案第53号	17.9.20	金武町附属機関に関する条例の一部を改正する条例について	町長	17.9.21	原案可決
議案第54号	17.9.20	金武町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	町長	17.9.21	原案可決
議案第55号	17.9.21	平成17年度金武町有線放送電話事業特別会計補正予算(第1号)	町長	17.9.21	原案可決
議案第56号	17.9.21	金武町有線放送電話事業財政調整基金の処分について	町長	17.9.21	原案可決
議案第57号	17.9.21	平成17年度金武町屋嘉地区簡易水道事業会計補正予算(第1号)	町長	17.9.21	原案可決
議案第58号	17.9.21	金武町国民健康保険高額療養資金貸付基金条例の一部を改正する条例について	町長	17.9.21	原案可決
議案第59号	17.9.21	金武町診療所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	町長	17.9.21	原案可決
議案第60号	17.9.21	金武町法定外公共物の管理に関する条例の制定について	町長	17.9.21	原案可決
議案第61号	17.9.21	専決事項の指定について	小波津 隆 外6名	17.9.21	可決
認定第1号	17.9.21	平成16年度金武町一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について	町長	17.9.30	認定
認定第2号	17.9.21	平成16年度金武町水道事業会計決算認定について	町長	17.9.30	認定
認定第3号	17.9.21	平成16年度金武町屋嘉地区簡易水道事業会計決算認定について	町長	17.9.30	認定
推薦第1号	17.9.30	農業委員会委員の推薦		17.9.30	推薦
決議第9号	17.9.30	議員派遣決議	仲里 全孝 外6名	17.9.30	可決
決議第10号	17.9.30	ギンバル訓練場跡地利用調査特別委員会の設置に関する決議	小波津 隆 外6名	17.9.30	可決

ギンバル訓練場跡地利用調査特別委員会を設置

第9回定例会において、ギンバル訓練場跡地利用調査特別委員会設置に関する決議が提出され、採決の結果賛成多数で特別委員会を設置することとなった。

本委員会は、ギンバル訓練場の開発に関する諸々の件を調査研究し、あるいは当局のプランを検証し、跡利用計画がより意義あるものにして地域振興に反映させることを目的とし、今後、跡利用のほりつけ事業の調査研究、滅失地・潰れ地等の状況等を調査していく。

本委員会委員は下記の8名である。

委員長	外間 現一郎	副委員長	小波津 隆
委員	山城 清盛	委員	仲里 全孝
委員	嘉数 義光	委員	宇久田 朝仁
委員	宜野座 栄	委員	仲間 昌信

農業委員会委員の議会推薦決定!!

農業委員会等に関する法律第12条第2項の規定に基づき、第9回定例会において下記の2名を決定した。任期は3年間で平成17年10月1日～平成20年9月30日まで。

*宮里 貴光 氏 (金武町字金武164番地)

*仲間 安幸 氏 (金武町字金武4099番地10)

第8回臨時会

平成17年8月18日(木)に招集された臨時会では、一般会計補正予算(第2号)、工事請負契約締結について審議し、それぞれ可決しました。議決結果は下記のとおり。

議案番号	件名	議案結果
議案第46号	平成17年度金武町一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第47号	工事請負契約締結について	原案可決

第10回臨時会

平成17年10月27日(木)に招集された臨時会では、一般会計補正予算(第4号)、工事請負契約締結について審議し、それぞれ可決しました。議決結果は下記のとおり。

議案番号	件名	議決結果
議案第62号	平成17年度金武町一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第63号	工事請負契約締結について	原案可決
議案第64号	工事請負契約締結について	原案可決
決議第11号	米軍再編に伴う北部地域への基地機能強化に関する反対決議	可決
決議第12号	米軍再編に伴う北部地域への基地機能強化に関する要請決議	可決

第10回臨時会

米軍再編に伴う北部地域への基地機能強化に関する反対決議を全会一致で可決!!

平成17年10月27日に招集された臨時会で、米軍再編に伴う北部地域への基地機能強化に関する反対決議、要請決議をそれぞれ全会一致で可決し、翌28日に関係機関へ要請決議の手交を行った。決議内容と要請先は次のとおり。

米軍再編に伴う北部地域への基地機能強化に関する要請決議

在日米軍の再編協議に伴う基地の本島北部への移設集約、とりわけキャンプ・ハンセンを含む周辺への中南部からの移設集約案に対して金武町議会は、反対の意を表明する。

在日米軍が金武町に駐留以来、軍人による事件・事故・殺人など枚挙に暇がないほど惹起し人権を蹂躪してきた。また、演習による山林火災・騒音・被弾・跳弾・赤土汚染等の被害を被り理不尽な犠牲を強いられてきた。

1995年に宜野湾市において開催された県民総決起大会では、85,000人余の県民が結集し、人間としての尊厳を守るべく、沖縄に集中する米軍基地の移転と負担軽減を、日米両政府に強く求めてきたところである。あれから10年を経過した今日でもなら変わってなく、むしろ後退している。町土の約60%を米軍基地が占め町民は、狭隘な場所での生活を余儀なくされている。

在日米軍再編協議は、地元自治体をまったく無視して、頭越しに進められている。町民の不安と不満が蓄積するなか、日米両政府にとって地域住民の存在は如何様に認識されているか疑問を抱かざるを得ない。取りざたされているキャンプ・ハンセン演習場での陸上自衛隊第一混成団の訓練や那覇軍港の移設・牧港補給基地の移設などは、北部への一方的な軍事基地の押し付けであり、未来永劫新たな差別を生むことになりかねない。

北部地域は、観光・教育・農業等、沖縄の将来を左右する可能性を秘めたところであり地域振興に12市町村が真剣に取り組んでいる。

そのような中で北部地域を米軍基地の掃き溜めとすることは、断じて許すことはできない。

よって、金武町周辺の基地機能の強化と新たな基地の建設は、負担軽減にはならず到底受忍できない。

貴機関におかれましても、本町議会の反対決議を踏まえ、対応して頂くよう要請する。

平成17年10月27日
沖縄県金武町議会



沖縄県への要請

要請決議手交先

- 那覇防衛施設局 (西局長対応)
- 外務省沖縄事務所 (堤副所長対応)
- 沖縄県知事 (府本基地防災統括官対応)
- 沖縄県議会議長 (野島局長対応)

要請決議送付先

- 内閣総理大臣 小泉 純一郎
- 外務大臣 町村 信孝
- 防衛庁長官 大野 功統
- 防衛施設庁長官 北原 巖男

各常任委員会の所管事務調査を実施

各常任委員会の所管事務に関する先進調査を実施しました。

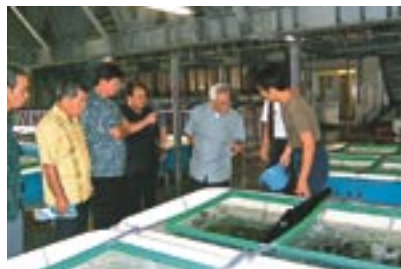
総務財政委員会

研修期間：平成17年5月24日～5月27日
研修地：三重県玉城町、岐阜県山県市
研修目的：市町村合併に関する調査、
行財政改革の対策に関する調査



産業建設委員会

研修期間：平成17年8月30日～9月2日
研修地：北海道ノ国町
北海道松前町
研修目的：貝類の種苗生産に関する調査



教育民生委員会

研修期間：平成17年10月18日～10月21日
研修地：群馬県下仁田町、山形県小国町
研修目的：
①一般産業廃棄物最終処理場、リサイクルセンターの設備及び運営形態について
②少人数学級制度及び習熟度学習の成果、小中高一貫教育の実施内容及び成果について

